



Link and Motivation Group

新入社員の成長ステップ に関する調査結果

株式会社リンクアンドモチベーション

背景

終身雇用や年功序列の慣行が薄まり、転職が当たり前になりつつある昨今においては、個人が自身のキャリアを自立的に描いていくことが重要視されています。また、企業においてもこれまで以上にイノベーションが求められており、従業員の創意工夫の原動力となるキャリア自律を推進する動きが活発になっています。そうした中、初めて社会に出る新入社員はどのような成長を遂げていけばよいのでしょうか。本調査では、リンクアンドモチベーショングループ（以下当社）が提供する、新入社員向けのビジネススタンスサーベイの結果を用いて、周囲から評価される新入社員の特徴について調査、考察しました。

目的

評価される新入社員の特徴を調査し、**新入社員の成長ステップや成長のポイント**について示唆を得ることを目的に分析を行いました。

調査対象

2015年1月～2023年3月にリンクアンドモチベーショングループ（以下当社）が提供する**ビジネススタンスサーベイを実施した128社9,211名**を対象としました。

分析方法

ビジネススタンスサーベイから算出される**総合スコアが、上位約5%、上位約5～20%、上位約20～50%、下位約50%である4群に分類し、群ごとに各40項目の偏差値ランキングを作成しました。**このランキングから上位5項目を抽出し、周囲から評価される新入社員の特徴を分析しました。

ビジネススタンス
サーベイ概要

新入社員のビジネススタンスを測定するためのサーベイ。質問項目は、新入社員に求められる「ビジネススタンス」を Say・Target・Action・Roleplay（以下STAR）と定義し、計8領域/40項目から構成されています。サーベイでは全40の質問項目に対し、新入社員の上司や同僚が「何をどの程度期待しているのか（＝期待度）」、「何にどの程度満足しているのか（＝満足度）」について「全く期待（満足）していない（1）」から、「非常に期待（満足）している（5）」までの5段階で回答します。

すべての項目の期待度・満足度のスコアから、ビジネススタンスの偏差値として総合スコアを算出しています。

▼STARの観点の分類

Say	発信性	Target	目的性
	本働性		効率性
Action	積極性	Roleplay	受信性
	確動性		協働性

総合スコアと
レーティング

総合スコアを一定の範囲ごとに分類し、レーティングとして整理しています。本調査では簡略化のため、以下のように4群に分類をして分析を行います。

▼レーティングの定義と本調査での分類

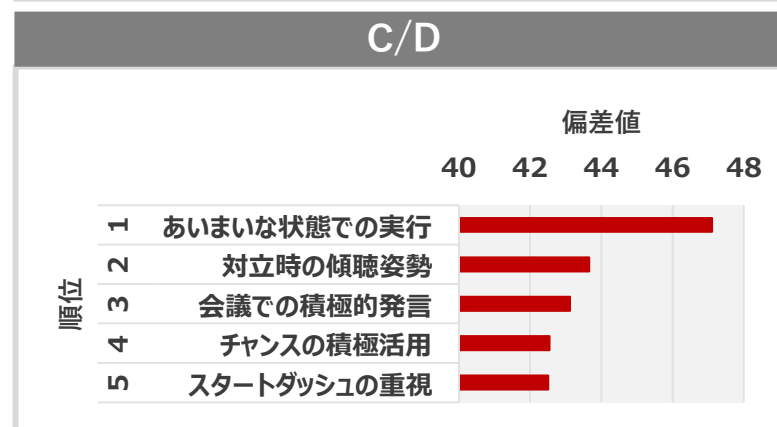
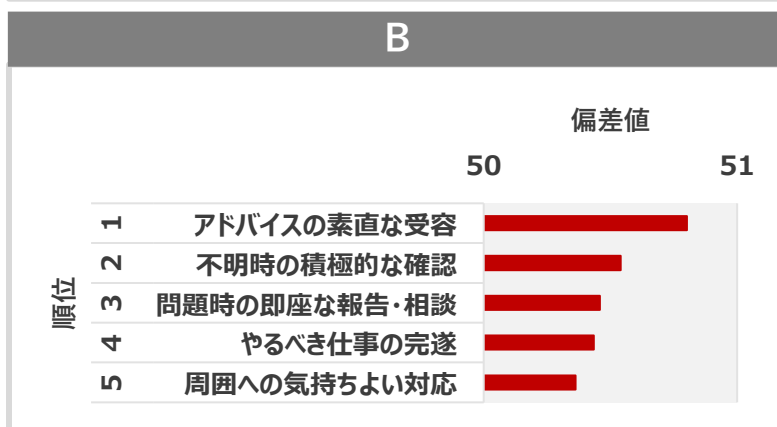
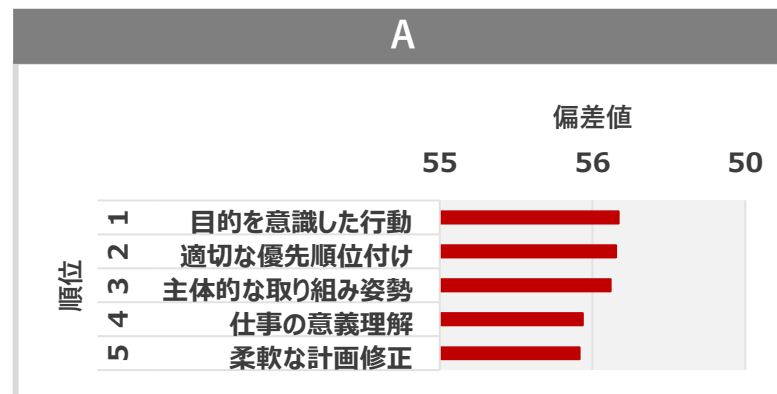
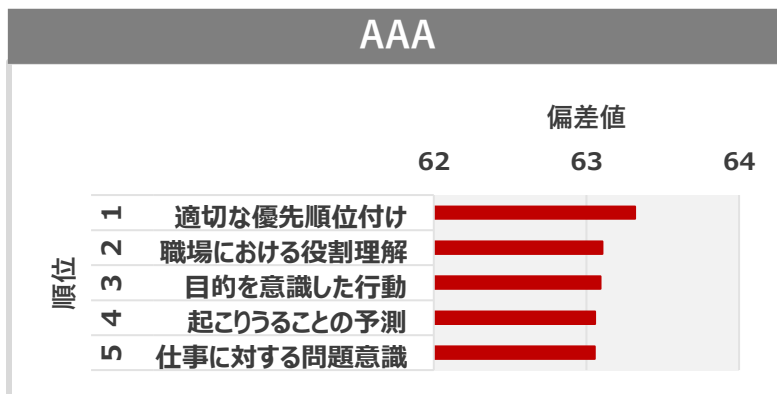
総合スコア	33未満	39未満	42未満	45未満	48未満	52未満	55未満	58未満	61未満	67未満	67以上
レーティング	DD	DDD	C	CC	CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA
本調査での分類	C/D					B			A		AAA

調査結果

総合スコアのランクごとの偏差値上位5項目として以下の項目が抽出されました。

- AAA : 「適切な優先順位付け」「職場における役割理解」「目的を意識した行動」「起こりうることの予測」「仕事に対する問題意識」
- A : 「目的を意識した行動」「適切な優先順位付け」「主体的な取り組み姿勢」「仕事の意義理解」「柔軟な計画修正」
- B : 「アドバイスの素直な受容」「不明時の積極的な確認」「問題時の即座な報告・相談」「やるべき仕事の完遂」「周囲への気持ちよい対応」
- C/D : 「あいまいな状態での実行」「対立時の傾聴姿勢」「会議での積極的発言」「チャンスの積極活用」「スタートダッシュの重視」

ランクごとの偏差値上位5項目



考察①

調査結果から得られた各レーティングごとの特徴項目を踏まえると、新入社員の成長ステップは以下の4ステップに整理されると考えられます。

- ① **行動をためらわない新入社員**：まずは失敗を恐れずに積極的に発言、行動する。
- ② **チーム意識を持った新入社員**：報告や相談といった周囲へのコミュニケーションを通じて職場に馴染み、アドバイスを受容する姿勢を持つ。
- ③ **目的意識を持った新入社員**：仕事の遂行者に留まらず、目的を把握して適切な計画、優先順位付けを行う。
- ④ **自立的な新入社員**：起こりうることを予測し、仕事に対する問題意識を持って自立的に仕事を進める。

ランク	特徴項目	新入社員像	詳細
AAA	適切な優先順位付け 職場における役割理解 目的を意識した行動 起こりうることの予測 仕事に対する問題意識	仕事を自分事化して考える <u>自立的な新入社員</u>	目の前の仕事だけではなく、仕事の先に起こりうることを予測し、仕事に対する問題意識を持ち、自立して仕事を進めている。
AA A	目的を意識した行動 適切な優先順位付け 主体的な取り組み姿勢 仕事の意義理解 柔軟な計画修正	仕事を計画的に進める <u>目的意識を持った新入社員</u>	ただ任された仕事をこなすのではなく、目的や意義を理解し、自分なりに計画や優先順位付けを行っている。
BBB BB B	アドバイスの素直な受容 不明時の積極的な確認 問題時の即座な報告・相談 やるべき仕事の完遂 周囲への気持ちよい対応	周囲からのサポートを得ている <u>チーム意識を持った新入社員</u>	自身の殻に閉じこもるのではなく、周囲に報告・相談を行い、周囲からのサポートを得られている。
CCC CC C DDD DD	あいまいな状態での実行 対立時の傾聴姿勢 会議での積極的発言 チャンスの積極活用 スタートダッシュの重視	経験がないことでも <u>行動をためらわない新入社員</u>	わからないことが多い状態でも、積極的に行動しようとする姿勢を持っている。

考察②

新入社員が各成長ステップを上がっていく際には以下がポイントになると考えられます。

- ① C・D⇒B : 周囲に遠慮しない
- ② B⇒A : 目的や基準を周囲とすり合わせる
- ③ A⇒AAA : 仕事を自己キャリアからも捉える

ランク	成長ステップ	ステップを上げるうえでのポイント
AAA	<u>自立的な新入社員</u>	<p>A⇒AAA</p> <p><u>仕事を自己キャリアからも捉える</u> 会社から与えられた目的をそのまま遂行するのではなく、自己キャリアからも捉え直し、仕事に対して自分なりの目的設定をすることが重要と考えられます。</p>
AA A	<u>目的意識を持った新入社員</u>	<p>B⇒A</p> <p><u>目的や基準を周囲とすり合わせる</u> 仕事を任された際に聞いた目的や基準は仕事が進む過程で変わっていく可能性があるため、常に周囲とすり合わせ続けることが重要と考えられます。</p>
BBB BB B	<u>チーム意識を持った新入社員</u>	<p>C/D⇒B</p> <p><u>周囲に遠慮しない</u> 忙しい先輩へ話しかけるのを遠慮する新入社員も多いですが、話しかけずに自身の仕事が失敗することが、先輩にとっても大きなリスクとなるため、積極的に状況を報告・相談することが重要と考えられます。</p>
CCC CC C DDD DD	<u>行動をためらわない新入社員</u>	

結果

総合スコアのランクごとの偏差値上位5項目として以下の項目が抽出されました。

- ・AAA : 「適切な優先順位付け」「職場における役割理解」「目的を意識した行動」「起こりうることの予測」「仕事に対する問題意識」
- ・A : 「目的を意識した行動」「適切な優先順位付け」「主体的な取り組み姿勢」「仕事の意義理解」「柔軟な計画修正」
- ・B : 「アドバイスの素直な受容」「不明時の積極的な確認」「問題時の即座な報告・相談」「やるべき仕事の完遂」「周囲への気持ちよい対応」
- ・C/D : 「あいまいな状態での実行」「対立時の傾聴姿勢」「会議での積極的発言」「チャンスの積極活用」「スタートダッシュの重視」

考察

▼新入社員の成長ステップについて

調査結果から得られた各レーティングごとの特徴を踏まえると、新入社員の成長は以下の4ステップに整理されと考えられます。

- ①行動をためらわない新入社員 : まずは失敗を恐れずに積極的に発言、行動する。
- ②チーム意識を持った新入社員 : 報告や相談といった周囲へのコミュニケーションを通じて職場に馴染み、アドバイスを受容する姿勢を持つ。
- ③目的意識を持った新入社員 : 仕事の遂行者に留まらず、目的を把握して適切な計画、優先順位付けを行う。
- ④自立的な新入社員 : 起こりうることを予測し、仕事に対する問題意識を持って自立的に仕事を進める。

▼新入社員が各成長ステップを上げていくうえでのポイント

- ①C/D⇒B : 周囲に遠慮しない
- ②B⇒A : 目的や基準を周囲とすり合わせる
- ③A⇒AAA : 仕事を自己キャリアからも捉える

まとめ

本調査では新入社員の成長ステップやステップを上がるうえでのポイントについて考察してきました。

その中でも注目すべきは最も評価される新入社員は自分なりの課題感や問題意識を持ち、

日々の仕事に取り組んでいることということです。

イノベーションや新たな価値の創出が求められる昨今では、指示されたことを徹底することだけではなく、

いかに付加価値を生めるかが重要視されているということではないでしょうか。

もちろん、新入社員という性質上、まずは目の前の業務や職場に馴染むということは重要ですが、

少しずつ自分のありたいキャリアを考え、それを元に目の前の仕事の目的を再設定していくことが求められるのではないのでしょうか。



株式会社リンクアンドモチベーション モチベーションエンジニアリング研究所

所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目12-15 歌舞伎座タワー 15階

WEBサイト <https://www.lmi.ne.jp/>

発行責任者 大島 崇

問合せ先 TEL : 03-6853-8111 FAX : 03-6859-9050 E-mail : me-lab@lmi.ne.jp